人間関係講座（グループ）第89回［秋］

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	中尾　陽子（南山大学経営学部准教授） 土屋　耕治（南山大学人文学科心理人間学部講師）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。１つの講座は２日間のプログラムで構成しています。 私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の１つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテント）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテント」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 なお、この講座（または過去の人間関係講座＜グループ＞）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」を開催します。
日程	2013年8月31日（土）　10：00～18：00 9月 1日（日）　9：00～17：00　土日集中
定員	36名
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　中尾　陽子　記 8月31日から9月1日にかけて、南山大学D51教室において『第89回人間関係講座』（グループ）が開催されました。2日間のプログラムでは、小講義を通じてラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方を理解して頂きながら、小グループに分かれて実習に取り組み、個人やグループに対する気づきを深めていきました。 担当して毎回思うのは、この講座が“基礎講座”とはいいながら、大変密度の濃いプログラムになっているなあ…ということです。しかも、受講生の皆さんが本当に熱心かつ真剣に取り組んでくださるため、担当者としては、「あんなこともこんなこともお伝えしたい！」という欲が出てきて、今回も時間と戦いながらの2日間となりました。 参加者のみなさま、その後お元気におすごしでしょうか？　暑さ厳しい名古屋に、日本全国からお集まり頂きまして、本当にありがとうございました。 今回の講座の体験が、それぞれの日常の中で、ご家族やお仕事仲間とよりよい関係をつくるための何らかのお役に立っていることを願いながら、この原稿を書いています。どんな毎日をお過ごしか、またおきかせくださいね。みなさまと再びお会いできますことを楽しみにしています！